

「芸備線 庄原市・新見市エリアの利用促進等に関する検討会議」

第6回 会議要旨

1 日 時 令和5年7月20日（木）14：00～

2 場 所 TKP ガーデンシティ PREMIUM 広島駅北口 ホール3B

3 出席者 広島県 地域政策局長
庄原市 事務担当副市長
岡山県 県民生活部長
新見市 副市長

JR西日本中国統括本部 岡山支社 副支社長

〃 広島支社 副支社長

※各団体の実務担当部署から、所属長及び担当者が同席

4 内 容

(1) 第5回検討会議の振り返り

(2) 各構成員による発表

①岡山県域に係る取組

②広島県域に係る取組

(3) 意見交換

(4) 第7回検討会議に向けて

5 意見交換要旨

○ JR西日本中国統括本部岡山支社

- ・ 二次交通の改善や自治体職員への鉄道利用の呼びかけについて感謝申し上げるとともに、ICOCAが地域活性化に寄与していることに嬉しく感じている。
- ・ 岡山デスティネーションキャンペーン（DC）では、瑞風や銀河で訪れるお客様に対し、新見駅でのあたたかいおもてなしをしていただいた。これがリピーターの獲得に繋がることを期待している。
- ・ 本年7月から開催しているアフターキャンペーンでも、岡山県北部地域の観光プロモーションを実施しており、地域の魅力をしっかり発信したい。

○ 岡山県

- ・ 関係者の連携した取組により、利用促進の効果も徐々にではあるが着実に現れてきていると感じている。
- ・ 昨年7月から9月にかけて岡山DCが開催され、全国から多くの方にお越しいただく中、鉄道の魅力を伝えるイベントが開催されたことや、特別な列車が運行され地域

をあげて盛大にお出迎えするなど、岡山 DC を通じて、多くの方に鉄道をより身近に感じていただけたものと考えている。

- ・ こうした芸備線を始めとする鉄道の関心の高まりも生かして、引き続き、新見市や JR 岡山支社とも連携を図りながら芸備線の利用促進に取り組んでまいりたい。

○ 新見市

- ・ 二次交通を改善し芸備線を使いやすくするため、哲西地域に加えて神郷地域で新たに予約型乗合タクシーの実証運行を開始した。
- ・ 哲西地域では、取組前に比べて乗合タクシーや市営バスの利用者が 1 日平均で 1.6 倍程度増え、市民の外出機会の増加に効果が表れている。また、アンケートによると、乗合タクシーの利用者の中で約 1 割が駅を目的地又は出発地としており、利用促進に繋がっているものと考えている。
- ・ 検討会議が始まって約 2 年が経過し、沿線自治体の連携した取組により、効果は徐々に表れてきているように感じている。使いやすさとインセンティブの観点で、さらに取組を強化しながら、引き続き利用促進に取り組みたい。

○ JR 西日本中国統括本部広島支社

- ・ 「広域交通」に係る取組として、5 年目の運行となる庄原ライナーを今年度初めて夏に運行する。これに併せて、二次交通を含めた総合的な情報を発信する「庄原 Ma a S ステーション」や、庄原市様においても「帝釈峡、道の駅たかのへのシャトルバスの運行」等を設定いただいております、庄原市域の「夏ならではの」を体験いただけるのではと期待している。
- ・ 「日常利用」については、昨今の交通政策で謳われている「共創」との考え方のもと、今後、各種利用促進で得られた検証結果やデータ等も活用しながら、より実効的な施策を展開していきたいと考えている。
- ・ 何より地域が元気になる事が一番大切だと考えており、引き続き、地域の魅力的な素材の発信等や関係人口の創出等にも取り組ませていただきたいと思います。

○ 庄原市

- ・ 新たに取り組んだ「ローカルダイブ・トレイン」による「ローカル志向」の人々の来訪が、観光振興に留まらない交流人口や定住人口の増加につながる感触を得られたと感じているほか、住民が主体となり取り組む利用促進策を支援するなど、官民をあげ、利用機運を高める取組にも努めた。
- ・ これまでの日常利用・観光利用による取組に加え、交流人口や定住人口の拡大の観点も含め、「ローカルダイブ・トレイン」を更に深化させていくことや、夏の庄原ライナーの運行に合わせた、公共交通のみでは訪れにくい高野町・比和町方面の観光拠点等への臨時シャトルバスの運行などを通じた周遊型の観光にも取り組んでいく。
- ・ 引き続き 3 本の柱に基づく利用促進策を継続していくことを基本とし、中でも、鉄

道の広域ネットワークを活用した交流人口・定住人口の増加につながる取組に力を注ぎ、沿線地域全体の活性化につなげてまいりたい。

○ 広島県

- ・ 新見市にて取り組まれている予約型乗り合いタクシーなどの二次交通改善の取組で大きな成果をあげられており、我々も交通手段の鉄道への転換に取り組んでいる中で、大変参考になった。
- ・ 今後も、データ分析などの観点も取り入れながら、会議で示した4つの観点に沿って、沿線市及び芸備線対策協議会などと連携し、利用促進に努めてまいりたい。

以 上